

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（4）放課後児童の健全育成

		【Plan】計画		【Do】実施						【Check】評価		【Action】改善		決算	担当課		
施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	事業概要	R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標					評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	予算事務事業名	※大字が評価を記載した課	
							区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						R6年度
4	1	49	放課後児童クラブ「全児童化」の実施	放課後児童クラブを設置するすべての小学校区で利用を希望する児童を受け入れる体制を維持する。	①放課後児童クラブの実施校区 126校区 ②放課後児童クラブ実施箇所数 132箇所	①放課後児童クラブの実施校区 126校区 ②放課後児童クラブ実施箇所数 132箇所	全児童化の実施	半年度目標	体制の維持	体制の維持	体制の維持	体制の維持	体制の維持	順調①	・前年度と同様に、受け入れる体制を維持できている。 ・引き続き、利用を希望する児童を受け入れる体制を維持する。	放課後児童クラブ運営費	子ども家庭局・子育て支援課
							【現状値】	半年度実績	実施								
							【目標】	達成率	100%								
								計画目標	100%								
4	1	50	放課後児童クラブにおける児童受入のための環境整備	登録児童数の増加により、本市の基準で定める児童の専用区画の確保が難しくなる放課後児童クラブについて、学校施設の活用などにより受け皿を確保するなど、児童受け入れのための環境整備を行う。 また、民間で実施している学童向けの保育事業などの活用について検討を行う。	①西門司学童クラブ他3ヶ所で学校施設を活用した施設整備を実施 ②足原学童保育クラブで施設整備を実施 ③ひびきの児童クラブで新規プレハブ施設のリースを実施	①西門司学童クラブ他3ヶ所で学校施設を活用した施設整備を実施 ②足原学童保育クラブで施設整備を実施 ③ひびきの児童クラブで新規プレハブ施設のリースを実施	利用を希望する児童の受け入れ（4/1現在）	半年度目標	100%	100%	100%	100%	100%	順調①	・施設整備等を行い、待機児童数は0人であった。 ・待機児童を出さないため、引き続き施設の増設や教室改修等に取り組む。	放課後児童クラブ整備費 放課後児童クラブ整備費(リース) 放課後児童クラブ改修 放課後児童クラブ管理費(公共施設) 放課後児童クラブ管理費(債務)	子ども家庭局・子育て支援課
							【現状値】	半年度実績	100%								
							【目標】	達成率	100%								
								計画目標	100%								
4	1	51	放課後児童クラブの利用内容の充実	「小1の壁」解消のため、クラブの開設時間について、午後7時までの延長を推進する。また、利用者ニーズに対応するため、夏休み等長期休暇中の児童の受け入れを推進する。	①クラブの開設時間の延長の推進 ②夏休み等長期休暇中のみ利用児童の受入れの推進	①午後7時以降まで開所するクラブの割合 65.9% ②夏休み等長期休暇中のみ利用する児童を受入れているクラブ数 22クラブ	午後7時以降まで開所するクラブの割合(%)	半年度目標	現状値比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	順調①	・午後7時以降まで開所するクラブの割合は、前年度に比べ1.2%増加した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、夏休み等長期休暇中のみ利用する児童が減少したことにより、受入クラブは22クラブとなっている。 ・開所時間延長について、協力や理解を求めることで、午後7時以降まで開所するクラブの割合の増加に取り組む。 ・夏休み等長期休暇中のみ利用する児童の受入れについても、協力や理解を求めていく。	放課後児童クラブ運営費 放課後児童クラブ夏休み等長期休暇利用事業	子ども家庭局・子育て支援課
							【現状値】	半年度実績	65.9%								
							【目標】	達成率	101.9%								
								計画目標	101.9%								

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（4）放課後児童の健全育成

施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	【Plan】計画		【Do】実施						【Check】評価	【Action】改善	決算	担当課			
				事業概要	R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標					評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	予算事務事業名	※太字が評価を記載した課		
							区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						R6年度	
4	2	52	放課後児童クラブの質の向上	<p>児童に適切な指導が行えるよう、児童おおむね40人に対して放課後児童支援員等を2人以上配置する。</p> <p>併せて、児童が基本的な生活習慣や異年齢児童等との交わり等を通じた社会性の習得や発達段階に応じた主体的な遊びや生活が行えるほか、特別な配慮を必要とする児童が安心して過ごすことができるよう、体系的な研修の充実や、巡回カウンセラーの派遣などにより、放課後児童支援員等の資質向上を図る。</p> <p>さらに、運営委員を対象とした運営事務等の専門研修の実施や個別課題への対応を支援する巡回相談を行い、クラブの質の向上に努める。</p> <p>また、放課後児童クラブアドバイザー等の専門職の派遣を通じて、児童への対応等で、クラブと学校等との連携を促進する。</p>	<p>①指導員研修の実施</p> <p>②巡回カウンセラー等の派遣</p> <p>③クラブ自己評価の実施</p>	<p>①3種の指導員研修を延べ4回実施</p> <p>②巡回カウンセラーを延べ324クラブに派遣</p> <p>③クラブ自己評価を実施したクラブの割合100%</p>	自己評価実施クラブ率(%)	100%	100%	100%	100%	100%	順調①	<p>・指導員の研修を予定どおり実施した。</p> <p>・臨床心理士による訪問指導等を実施し、クラブの実情に即した助言等を行った。</p> <p>・令和2年度よりクラブ自己評価を実施した結果、全クラブから自己評価シートの提出があった。</p>	<p>・指導員研修の充実や、公認心理士、臨床心理士による訪問指導等に引き続き取り組み、職員の資質向上に取り組む。</p> <p>・また、各クラブの運営における工夫した取り組みを他クラブに照会するなど、指導員相互の情報交換を促進し、運営の質の底上げに努める。</p> <p>・自己評価は放課後児童クラブの更なる魅力アップを図ることを目的としており、放課後児童クラブアドバイザーが各クラブを巡回した際にも活用できるよう、今後も自己評価を実施し、各クラブからの提出を促していく。</p>	放課後児童クラブ運営費 放課後児童クラブ管理費	子ども家庭局・子育て支援課	
							【現状値】 — (R2年度より実施)	100%										
							【目標】	100%										
							達成率	100%										
4	2	53	放課後児童クラブ利用者支援事業	生活保護世帯等について放課後児童クラブの利用料を助成し、放課後児童クラブの利用を支援する。	①生活保護受給世帯及び市民税非課税世帯に利用料の一部を補助	①利用料補助対象件数819件	利用料補助対象人数(件)	—	—	—	—	—	順調①	<p>・対象者へ利用料の補助を行い、クラブの利用を支援した。</p>	<p>・引き続き、対象者への補助を行っている。</p>	放課後児童クラブ利用者支援事業	子ども家庭局・子育て支援課	
							【現状値】 1,039件 (R元年度)	819件										
							【目標】	—										
							達成率	—										